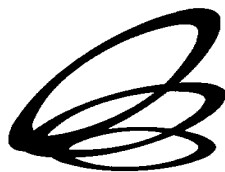


投資サービスセンター  
投資委員会事務局  
首相府



INVESTMENT SERVICES CENTER  
THE BOARD OF INVESTMENT  
OFFICE OF THE PRIME MINISTER

555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok 10900 Tel. 0 2553 8111, Fax : 0 2553 8222

---

プレスリリース / PRESS RELEASE

---

第 117 / 2567 (Aor. 54) 号

2024 年 8 月 29 日

**大手鉄鋼メーカーの G スチールと GJ スチールが BOI と協議  
45 億バーツの大規模な投資拡大でタイの鉄鋼産業を底上げ**

大手鉄鋼メーカーの G スチールと GJ スチールが 20 年ぶりに総額 45 億バーツを超える大規模な生産ラインの改修の投資奨励を申請する準備のため BOI との協議に入りました。タイの鉄鋼生産のポテンシャルを高め、低炭素産業へ前進させるとともにタイを ASEAN 市場やヨーロッパ市場へ輸出するための鉄鋼生産の中心へと押し進めるものです。

投資委員会 (BOI) 長官のナリット・テートサティーンラサク氏は、日本製鉄が主要な株主であるタイの大手熱延鋼板メーカーの G スチールと GJ スチールの幹部と BOI が、20 年ぶりに熱延鋼生産ラインの大規模改修のための投資協議に入ったことを明らかにしました。今後 3 年以内に投資総額 45 バーツのうち、ラヨン県の G スチールに 30 億バーツ、チョンブリー県の GJ スチールに 15 億バーツ、機械の改修による近代化、品質の向上およびプロダクトポートフォリオを多様化します。炭素排出量の少ない鉄鋼生産の技術を活用し、効率的で環境にやさしい生産プロセスにアップグレードします。また、コストを削減し、生産プロセスを合理化するため、リサイクル鉄鋼原料を管理するシステムを開発します。これは、国のカーボンニュートラルと循環経済の目標をサポートするものです。

G スチールと GJ スチールの親会社で世界第 4 位の製鉄メーカーである日本製鉄グループ (NSC) は、60 年以上前にタイで最初の生産ラインを設立しました。当初は、鋼管の生産から始まり、その他の製品へと拡大してきました。子会社は 30 社以上あり、国内で合計 8,000 人以上の従業員を擁しています。そして、2022 年、タイの大手鉄鋼メーカーの G スチールと GJ スチールに出資

しました。現在、G スチールと GJ スチールは、タイの熱間圧延鉄鋼業界のリーダーであり、炭素排出量の少ない電気アーク炉（Electric Arc Furnace）を備えた熱間圧延鋼コイルを製造する唯一の企業グループです。また、温室効果ガス管理機関からカーボンフットプリント証明書を受けたタイの大手金属スクラップリサイクル業者でもあり、タイのグリーン産業への移行を支援しています。これは、世界市場における炭素排出量の少ない鉄鋼製品の需要の方向性とも一致しています。

タイは ASEAN の中で一人当たりの鉄鋼消費量が最も多く、一人当たり年間約 234 キログラムです。現在、タイの鉄鋼製造業には約 180 社あり、このうち、長形鋼事業者が 100 社、平鋼事業者が約 80 社となっています。その大半が建設業向けの鉄鋼生産(60%)、次いで自動車産業・自動車部品(20%)、電気・電子機器(7%)、産業用機械・設備(5%)、包装(5%)、その他(3%)となっています。過剰供給による競争の激化や中国から世界市場への鉄鋼放出の加速により、タイの鉄鋼市場は影響を受けてきました。今回の G スチールと GJ スチールの投資拡大の決定は、タイの鉄鋼会社の生産能力や効率性を向上させるものです。また、今後、特にヨーロッパ市場における国際貿易ルールの中核となる炭素排出量の削減のための最新技術の活用も含まれています。

\*\*\*\*\*

BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”

